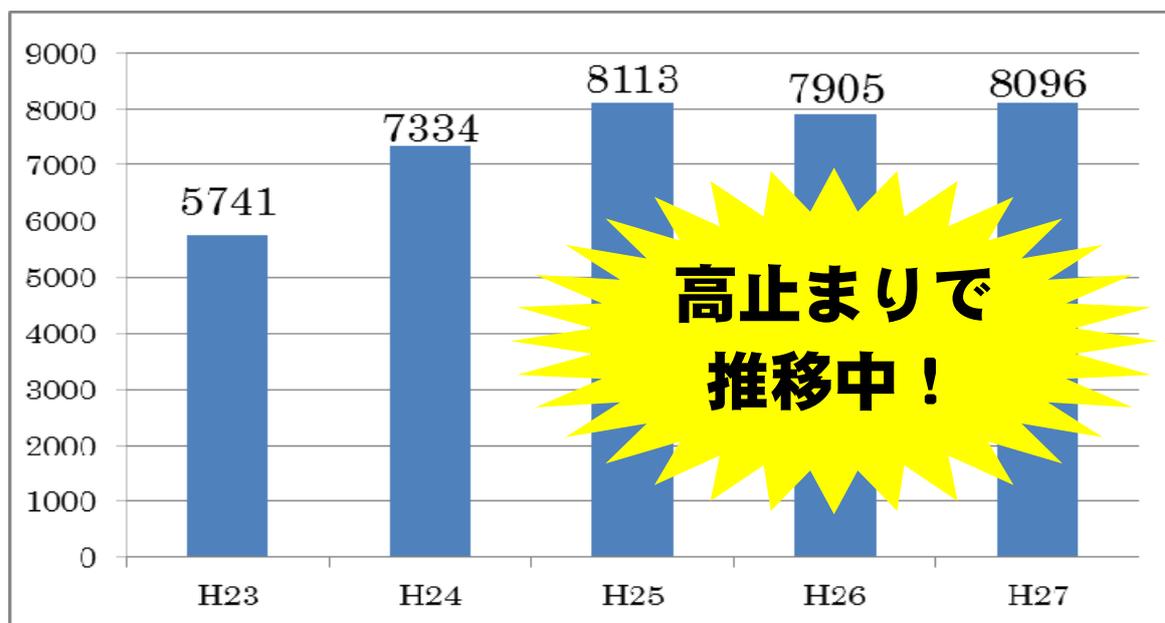




# 平成27年サイバー空間の脅威情勢

～ サイバー犯罪の検挙件数の推移（全国） ～



## 平成27年中の特徴

- 平成27年中に警察が連携事業者等から報告を受けた**標的型メール攻撃**は**3,828件**と**過去最多**。Word文書形式を添付したものが急増。
  - 9月以降、地方公共団体や報道機関等の**ウェブサイトの閲覧障害事案**が頻発。「アノニマス」を名乗る者が、犯行声明をSNSに投稿。
  - 平成27年中のインターネットバンキングに係る不正送金事犯の被害額は**約30億7,300万円**で**過去最高**であった。
  - **国境を越えて行われるサイバー犯罪に係る事件を検挙。**
    - ・ 海外からの接続を取り次ぐ中継サーバ事業者による不正アクセス事件
    - ・ 海外サーバを利用したわいせつ画像陳列事件 等
  - 詳細は、下記のURLを参照してください。
    - ・ 平成27年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢について(警察庁HP)
- [http://www.npa.go.jp/kanbou/cybersecurity/H27\\_jousei.pdf](http://www.npa.go.jp/kanbou/cybersecurity/H27_jousei.pdf)